
蔵の夢

榛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蔵の夢

【コード】

N9405W

【作者名】

榛

【あらすじ】

蔵の中にあるものを探す使命。超短編・会話のみ。

「つかしーな、確かここら辺のはずなんだけど……」
「お前の記憶違いじゃねえの？」
「や、確かに蔵のここら辺だって婆ちゃん言ってた」
「んな夢で言ってたこと真に受けんなよ」
「お前にはわからんって。毎晩毎晩死んだ婆ちゃんに夢枕に立たれて『ゆうく、蔵ん中さ入れた桐箱を探してける』『ゆうく、桐箱さ見つかったか』って言われ続けてみるよ、探さなきゃおられなくなるから」
「そりゃご愁傷さま。てかさ、何で同じ家に住んでた俺じゃなくて柚ゆうの方に化けて出るわけ？」
「知らんよ。聞いたらさ、夢を渡るのにお前より僕のが相性良かったらしいね」
「夢を渡る？ …… お前も昔つから変な事に巻き込まれるよな」
「その言葉、そっくりそのまま返すよ」
「お互い様か。あー腰痛え」
「文句なら婆ちゃんに言えよ。僕だって腰痛いし」
「前屈みしっぱってやっぱキツイよなー。腰パキパキ言っし」
「僕も」
「なんか懐中電灯の具合も悪いしき。さっきからちらつくんだよな」
「電池なくなってきたるんじゃない？」
「かもな。放置されてたやつ拝借してきたから」
「してくるなよ」
「一応借りるって言ってきたし」
「誰もいない空間に向かって？」
「そうそう。……なんで柚はわかるかね」

「だってお前単純だもん」

「あつそ。マジで電池ヤバそうだから換えてくるわ」

「いってら。早く帰ってこいよ」

「怖がりの為に頑張ったるよ」

「超特急でな」

「はいはい」

「……………わざわざ化けて出るなんて、一体何隠したんだよ婆ちゃん……………これは茶碗か……………こっちは……………蓄音機？　なんでまた……………」

……………桐なの？　木箱ばつかでわからんし。せめて箱のサイズ教えてくれないとホント探すのに困るし。開ければわかるってヤバイ系なのかな……………これは市松人形か。暗いところを見ると不気味だなあ……………早くしまおつとせ」

「ただいま」

「うわあつ！……………まじビビったし。おかえり、早く探すの手伝ってくれ」

「はあ」

「ちょ、この箱どかすの手伝って」

「はあ」

「たっただいまー」

「え？」

「え？」

「柚、箱持つてる奴、誰？」

「……………」

「……………でつでたあーっ！！」

「……………脅かす気はなかったの。ごめんなさい……………」

(後書き)

三題漸として作成したものです。

題：電池、見つかった、ごめんなさい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9405w/>

蔵の夢

2011年11月1日02時10分発行